



KUFS TOKYO NEWSLETTER

2008年12月10日

京都外国語大学校友会東京支部 VOL.8

トピックス

- ごあいさつ
- 理事長勲章授与
- クラブハッツの会案内
- 外大キャリアサポート
- 外大生・横顔シリーズ
- 連載シリーズ第7回
- 活動メンバー紹介

* 東京支部 NEWSLETTER 第8弾 *

この1年はどんな年だったのでしょうか。
新しい人々に出会い、ネットワークを広げた
外向きの華やかな刺激とは反対の
愛とか喜びとかと呼べる心深いところにある
大切な宝物を見落とさないでくださいね。



この東京支部NEWSLETTERも今回で8回目となります！
KUFS現役生と卒業生の架け橋となることを目標に、情報交換の
コミュニケーション・スペースとして、充実を計ってゆきたいと思います。
まだ、NEWSLETTERを受け取られていらっしゃらない方をご紹介
させていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>> tonegawa@gm-group2.net

森田嘉一理事長・総長 栄誉に輝く



スペイン王国国王ファン・カルロス一世と勲章授与式典にて

森田理事長・総長は、
平成20年秋の叙勲において、
私学振興の功勞により、
『旭日中綬章』を授章

長年にわたり本学園の理事長、
総長として京都外国語大学を
全国有数の外国語大学へと

発展させたこと、私学関係団体のリーダーのひとりとして、わが国
高等教育の発展に尽力された功勞など、多方面にわたる私学振
興の功勞が認められたものです。

更に、スペイン国より「文民功勞勲章上級エンコミエンダ章」を受
章。スペイン国王アルフォンソ十三世の命により1926年6月25
日発布の勅令により増設された勲章で、スペイン国家のために功
を成したスペイン人及び外国人の突出した業績を讃えるためにス
페인国王が授与されるものです。今年は本学のイスパニア語学
科(現スペイン語学科)開設45周年という記念すべき年に当たっ
ており、こうしたなか森田理事長・総長は、スペイン語学科の発展
充実や、全国学生スペイン語弁論大会の開催等、多方面の活動

森田嘉一理事長・総長
栄誉に輝く

長年にわたる高校教育発展への
ご尽力、私学振興の功勞が
認められました。

スペイン国より

「文民功勞勲章上級

エンコミエンダ章」も受章

スペイン王国国王

カルロス一世、

同王妃ソフィア陛下の

ご訪問の栄誉

白玉蘭記念賞

笠戸丸賞

京都外大クラブハッツ紹介

大阪にて第17回研修総会

開催

2009年より東京部会発足

1月7日(土)13時

アルカディア市ヶ谷にて

会合開催

旅行関連業界の情報交換

の場としてご活用ください。

を通してスペインと日本の高等教育、学術の交流発展に寄与された功労が認められ、平成20年11月4日に同章を授与されました。そして、11月13日には、スペイン王国国王ファン・カルロス一世陛下及び同王妃ソフィア陛下のご訪問の栄誉を受けました。国王王妃両陛下の今回の来日は、わが国とスペイン国との親善関係をいちだんと深めるため、本学で開催されたスペイン語セミナー「日本におけるスペイン語の現状と将来」の記念式典にご出席されることによるものでした。さらに森田理事長・総長は中国上海市政府より「白玉蘭記念賞」をブラジル日本移民100周年委員会より「笠戸丸賞」を授章していらっしゃいます。

京都外大クラブハッツ(CLUB HAT'S)



京都外大クラブハッツ 第17回研修総会

京都外大クラブハッツと聞いて馴染みのない方も多いかも知れません。クラブハッツは校友会本部より他の支部と同じ組織として認められている旅行関連業界の部会です

去る11月7日には大阪で第17回目研修総会が60数名の参加者を得て開催されました。

そして、2009年よりクラブハッツの東京支部が発足します。1月17日(土)にはアルカディア市ヶ谷にて「クラブハッツ東京部会第1回親睦総会」が開催されます。下記、東京部会長からのメッセージです。

ふるさとを離れ激戦地でガンバッテル京都外大卒業生の皆様へ

来る1月17日(土)13時より市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」にて会合を開きます。

HAT'Sという名称で、主にはホテルや航空会社、旅行会社で仕事をしている方の集まりです。

われわれ卒業生は、前森田総長夫妻および現理事長・総長の下で学んだ仲間です。

厳しい時代が到来しつつあります。お互いに情報交換の機会を持ち、同じ学び舎の仲間として語り合い・助け合い・癒される場所としてクラブハッツ東京部会を活用いただければと思います。

ご参加をお待ちします。真剣なビジネストークもあるでしょう。是非、名刺もお忘れなく。必ずや何か得るものがあると確信します。

HAT'Sは、お互いに問題意識を高め、同じ卒業生として本気で何かを追究したいと願う仲間の集まりです。「S」はその他関連業種を指します。つまり、京都外大の出身であればどなたでもOKと言うことです。心より、ご参加をお待ちしております。

○ 日時: 2009年1月17日(土)13:00より

○ 場所: アルカディア市ヶ谷(JR・地下鉄市ヶ谷駅下車徒歩2分)

○ 会費：6,000円

* 詳細は校友会ホームページをご覧ください

HAT'S 東京部会 部会長 中鉢泰平 昭和41年卒

外大キャリアサポート事情 第3回



『オール京外大』を目指して

京都外国語大学
キャリアサポートセンター
山下 順朗センター長

*リーマンショックを契機とした世界金融危機の煽りが日本の大学生の就職事情にも影響を及ぼしていると言われていています。山下センター長から、今の就職事情について話を聞きました。

Q: 最近、メディアでも取り上げられています‘就職内定取り消し’、という事態。外大でそういうケースは？

A: 幸いにもそういった報告は受けておりません。全国的に就職内定の取り消しは1000件に満たない数字と聞いております。全体から見れば僅かではあるわけですが、どんな事態にも慌てることなく対処できるよう当センターとしても、そういった場合の学生の心のケアを含め次なる就職活動に向けた対応措置ができるよう備えておきたいと考えます。

Q: 現時点での2008年度卒業予定者の就職内定率は？

A: 正確な数値を申し上げられませんが、感触で言えば、80%から90%の就職内定率と捉えています。85%ぐらいでしょうか。今の時点でのこの数字は、例年と大差ないところです。3月になって90%から95%になる見込みです。内定している学生の中には、自分の納得したところではないという理由で、継続して就職活動をしている学生もいます。なお、学生は卒業式の日就職先の最終的な届けを当センター宛に出すことになっております。

Q: 今年度の卒業生の就職先における傾向や特徴は？

A: 外大生はこれまでホテル、旅行、エアライン、といった特化した業界への就職が数の上でもメインでした。今もメインではありますが、最近の傾向としてメーカーにウエイトがシフトしつつあります。卸、小売業への就職も増えています。平成12、13年頃の全体の製造業への就職の割合は、11~12%、去年で17.5%となっています。メーカー筋へシフトしているのが特徴ではないでしょうか。

Q: それはどうしてでしょうか？

A: 実は、当センターとして、学生に対してのガイダンスや業界説明会の際に、「将来、言語を駆使して何をしたいのか?」、「ことばをコミュニケーションのツールとして一体何をやりたいのか? どう就職に活かすのか?」、「TOEICで800点、900点目指して、その後、何をやるのか?」という問いか

・大学卒業後何をしたいのか

・自分の強みは何か

・なぜそれをしたいのか

自分の座標軸をもつこと

を伝えてきた

けに、ことばに詰まる学生が多かったのです。次の答えがなかったわけです。就職は人生の目的でないことをここ何年も学生たちに伝えてきました。3回生から4回生になってくるに従い、学生たちは就職があたまから離れないわけです。そこで、就職が人生の目的ではないこと、大学を出てから何をしたいのか、自分の強みは何か、なぜそれをしたいのか、自分の座標軸をもつことを繰り返し伝えてきました。そんなことも背景にあるのではないかと思います。

外大生・横顔シリーズ

メキシコレストラン

La Casita オーナーシェフ

渡辺庸生さん

同じ反骨精神ではあるが、

学生運動ではなく

戦争反対のフォークソング

の世界へ

料理人へのプロローグ

体を駆け抜けた衝撃の電流



メキシコ料理レストラン La Casita オーナーシェフ
昭和46年 イスパニア語学科中退 渡辺庸生さん
(昭和23年10月7日神戸生まれ)
取材しましたので、ご紹介します。

アメリカ民謡研究会(通称アメ民)に属していた
2回生の頃、学生運動で京都外大のキャンパスが
バリケード封鎖、その期間の授業なし、レポートのみ
という環境となり、同じ反骨精神ではあるが、
学生運動ではなく、戦争反対平和をと言う市民運動のフォークソングの世
界にのめりこんで行きました。神戸、大阪、京都を舞台に後藤悦次郎氏(京
都外大先輩、現在、紙ふうせんで活躍中)、谷村新司氏、西岡たかし氏とと
もに音楽活動をしていましたが、バンド活動をしながらのバイトで運命が変
わる出来事に遭遇したのです。
現在に至るまでの半生を語っていただきたいと思います。

料理人へのプロローグ

衝撃の電流が体を駆け抜けた。一体何が起こったのだろうか？それは
19才の夏の事だった。その前の年から神戸の著名なレストランで、アルバ
イトに従事する日が続いていた。ホールの仕事に慣れ親しんだ頃、厨房の
料理人から「ちょっと、中も手伝ってくれ！」と声をかけられた。

「何をしたらいいんでしょう？」

「ちょっとそこにあるサラダ用の野菜を切って！」

自分を決定付けた調理に

目覚めた日の出来事

当時の西洋料理の王道は

フランス料理

イタリア料理でさえ皆無

外大で学んだスペイン語が

メキシコ料理につながる

切り方を教わって包丁を持ち、切り始めた瞬間だった。緊張感ではなく、鳥肌が立つのでもない。手の先からつま先まで、前進の神経が微電流に感電したように戦慄(わなな)しているのだ。今の私を決定付ける調理に目覚めた日の出来事である。それまでは漠然と料理に興味を持っていたが、プロの仕事場で職人の包丁を持たされたことに触発され、真剣に将来の自分を意識する願望の日々を過ごしてゆく。2年半ほど過ぎた頃、すべての献立を把握しフライパンも振らせてもらえるようになっていた。アルバイトに精進するあまり、学業を疎かにしていた私に留年の知らせが届く。思い悩んだ挙句の決断は、自身の体の疼きを信じて中退することだった。

調理の道を志して新天地に飛び込んだ私を待っていたのは、思いもよらぬ疎外感であった。徒弟制度の厳しさは覚悟はしていたものの、当時の現状では若くして料理人になる方が多く、年下の先輩方にとっては私は疎ましい存在であったはずである。組織化された西洋料理の現場はフランス料理が王道で、今日その深さを知らしめたイタリア料理でさえ皆無の時代であった。試行錯誤の日々が続く中、料理を通じて、自分自身を表現する意識を具現化する答えは、京都外大で学んだスペイン語に拠所を求める自分がいた。スペイン語圏の国々を考察した結果、メキシコ料理に行き着くことになるが、十分な知識や確固たる自信があった訳ではない。唯、この国の持つ陽気な明るさと太陽の国のイメージに、偶然にも京都外大の先輩が経営している神戸のメキシコ料理店の存在が知らされる。即座に面接を申込、採用されたその日から期待に胸を躍らせながら調理に従事する日々が始まる。そんな私を待っていたものは……



La Casita 店内の一角



出版された著書

次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

*** ガンバレ、外大卒業生！ ***

連載シリーズ — 食と生活を考える— 第7回

柳島真知子先生

連載シリーズ第7弾

お節料理

柳島真知子 懐石料理研究家 昭和26年卒

お節料理 * お節といういわれ



お節はお節供の略

お重は普通五段重ね

現在は三段が主流



お節:お節供の略。お正月および五節句【人日…1月7日(七草)、上巳…3月3日(桃の節句)、端午…5月5日(男子の節句)、七夕…7月7日(星の祭り)、重陽…9月9日(菊の節句)】などで作られる特別な料理で、現在はお正月料理の総稱となっている。関西ではお重づめとか、組重(くみじゅう)という。

お重は普通は五段重ねで、一段目は祝肴、二段目は口取り、三段目は焼き物、四段目は与の重といって煮物、五段目には控え重として、一、二、三、四の空いたところへ補充するものを詰めておく。現在は三段重が主流になっている。

お節料理は、前年暮から準備をし、正月三ヶ日から五日間位迄食することがあるので、普段より日持ちするように調理の味付けを濃い目にする。一段目から与の重迄に詰める各段一品ずつを柳島流にてご紹介させていただきます。

一の重に入れるもの 田作り(ごまめ)
二の重に入れるもの 柚子豆腐・干柿柚子の甘酒あえ
三の重に入れるもの 鱈の幽庵焼き
与の重に入れるもの 筑前煮
お酒を飲みすぎたときに 桜がゆ
～・～作り方は添付ファイルにてご覧ください～・～

*** 柳島真知子さんの食シリーズ、次回もお楽しみに! ***

活動メンバー紹介

42年度英米語学科卒業

木村健司さん

活動メンバー紹介



私たち東京支部は、たくさんの有志の皆さんの理解と協力の上に成り立っています。このコーナーでは、現在、東京支部をささえてくれています役員や実行委員の皆さんの横顔を紹介させていただきます。少しでも、東京支部への親しみと近しみを増していただけると幸いです。

今回は(株)スミテックス・インターナショナルにお勤めの
42年度英米語学科卒業の木村健司さんです

街はクリスマスのイルミネーションが点灯しはじめ、新年に向けあわただしくなる季節ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は外大卒業後、住友商事グループの繊維専門商社である株式会社スミテックス・インターナショナルに就職とともに上京し早25年が過ぎました。休日には住まいの江戸川区から比較的近くで交通の便がいい銀座・日本橋・上野などの美術館・博物館や買い物に出かけます。またストレス解消と健康作りの為、ほぼ毎週自宅から自転車で30分足らずで行くことが出来る葛西臨海公園に出かけています。この公園からは、東京タワーやお台場等の都心の建物・ディズニーランド・アクアライン・富士山(冬の晴れた日は最高にきれい!)など東京湾が一望でき、さざ波の音や野鳥のさえずりを聞いたり爽やかな潮風にあたりリフレッシュしています。

校友会で本格的に協力メンバーとなったのは、第17回開催時(テーマは

「Love& Peace～校友会を通じ愛と平和を～」の実行委員長に指名された時からです。最初は準備の手順や対応がわからず不安だらけでしたが、諸先輩はじめメンバーの方々のご支援のお陰で無事終了することが出来ました。それ以降、名簿コピー、座席表・式次第作成、BGMの準備や当日は受付、案内、写真撮影等微力ながら楽しくお手伝いさせていただいています。開催日は毎年7月第二土曜日と決まっており、学科・クラス・クラブ等の垣根を越え、老若男女や職業問わず幅広く交流することができます。

また、今年は東京支部開催の卒業生の集いが記念すべき20回目を迎え、今後も継続的に発展するには皆様のご支援がなければなりません。イベントや新しい企画などご意見やご協力いただける方は事務局まで遠慮なくご連絡下さい。皆様とお会いできることを楽しみにしていますので、宜しくお願い致します。

***** 活動メンバー募集中 *****

=====事務局便り=====

ニュースレター配信8回目にして、森田嘉一理事長・総長の栄誉ある『旭日中綬章』受賞のニュースをお伝えすることができ、心よりうれしく思います。来年より「八」つまり「末広がり」をさらに期待できるということではないかと考えます。また、バイタリティのある皆さまを次々にご紹介してゆきたいと考えておりますので、皆さまの周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いません、当事務局宛お知らせください。

連絡先は >>> tonegawa@gm-group2.net

本年はつたないニュースレターをご覧いただきありがとうございました。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。来年も皆さまにとってすばらしい年でありますことをお祈りいたします。どうぞ、よいお年をお迎えください。ありがとうございました。

=====

事務局

135-0021
東京都江東区白河
4-9-16-607
(株)グローバルメディア内

電話

03-5245-8501

FAX

03-5501-9031

電子メール

tonegawa@gm-group2.net

企画・編集: 森田 順子

発行責任者: 本山 裕彦